

《別紙》

1. 開催年月日 令和3年5月

2. 開催場所 なし

3. 委員出席

委員総数 6名

レポート提出委員数 3名

レポート出席委員名

下川 隆 委員長

山本恒安 委員

小松真弓 委員

レポート未提出委員名

鈴木 悟 委員

伊藤理香 委員

賀陽智之 委員

回答放送事業者側出席者

飯島千ひろ（制作室室長・ディレクター）

4. 議 題

「ふらっとスクール」第4週土曜日10時～10時30分放送

5. 議事の概要

あらかじめ送付した番組を録音したCDを聴いていただき書面にて提出。

6. 審議内容

(下川委員長) 番組の内容もゲストとの質疑応答もわかりやすき、聴きやすかった。

ゲストは30代半ばと思うが、しっかりした考えの持ち主で、素晴らしいゲストだった。

いい番組がはじまり、今後も期待している。

(山本) ゲストの話をもっと聴きたかった。もう少し、パーソナリティの方々に番組を引っ張って

欲しかった。パーソナリティが4名は、適正人数か？BGMのボリュームが大きい。途中、ゲ

ストなのか、パーソナリティなのかわからないときがあった。ゲストが、いつ退出したのかが、

わからなかった。

(小松) 番組の名前と内容がマッチした番組で、中高生に聴いてもらいたい番組だと思った。

子どもたちにとって「本気の大人」が身近にいるというのは、とても大切。曲紹介と曲もよか

った。コミュニティ放送局の大切な役割「地域の身近な情報を伝える」があると考えている

ため、この番組のように、身近な大人が子どもや若者たちに「本気で本当の話」を伝えるこ

とも大事な役割なのだと、改めて気づかされた。

(ディレクター：飯島より回答)

この番組は、地域で活躍している子育て中の女性3人と現役の高校教師が制作している番組。多様性のある世の中にもかかわらず、まだまだ未知の部分が多い10代の子どもたちに対し、生き方には様々な選択肢がある、可能性は無限大なのだということを伝えたいと願い、始まった。また、多様な生き方を知ることは、子どものためだけではなく、番組当事者である保護者や教師、リスナーも含め、誰にでも学びになる。立場の境目なく、フラットな立ち位置で楽しく学べることを目指し、番組タイトルも「ふらっとスクール」と名付けられた。

番組の中で、話者が4人で話し、誰の声が誰なのか、わかりづらいというご指摘につきましては、2回目以降はメインで話す人を決め、役割を明確化する工夫と、4人で同時にしゃべる（被せ）がないよう注意しながら収録を行った。

番組ゲストは、西東京市に縁がある方や、話者の皆さんが話を聞いてみたい方をお呼びし、魅力ある個性的な方にご出演頂いた。

7月からは、同じメンバーで新番組「ここだけの保護者会ラジオ」をスタートさせている。

(毎月第4土曜日 21時30分～22時放送)

前番組の経験を活かし、「子どもたちにできること」を見つけるため、情熱をもって制作に取り組み続けているところである。

7. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

なし

8. 審議機関の答申または意見の概要の公表

自社放送 事務所への備え置き

9. その他の参考事項

なし